



## 下水汚泥の新たな処分方法の実証事業に取り組みます

島根県（宍道湖流域下水道事務所）では、汚水処理過程で発生する下水汚泥の新たな処分方法の確立に向け、民間事業者3社（(株)クボタ、UBE 三菱セメント(株)、中部エコテック(株)）及び日本下水道事業団と共同<sup>※1</sup>で、国土交通省が公募する下水道革新的技術実証事業（B-DASH プロジェクト<sup>※2</sup>）において「縦型密閉発酵槽による下水汚泥の堆肥化技術に関する実証事業」を提案し、このたび令和5年度実証事業として採択されました。

### ■背景、経緯

世界的な肥料価格やエネルギー価格の高騰に伴い、下水汚泥の堆肥化やエネルギー化に資する有効利用技術のさらなる普及が望まれています。現在、宍道湖流域下水道において発生した下水汚泥は再資源化処分（セメント原料化、堆肥化など）を実施していますが、低コスト化・省エネルギー化を目指し、当該実証事業に取り組むこととしました。

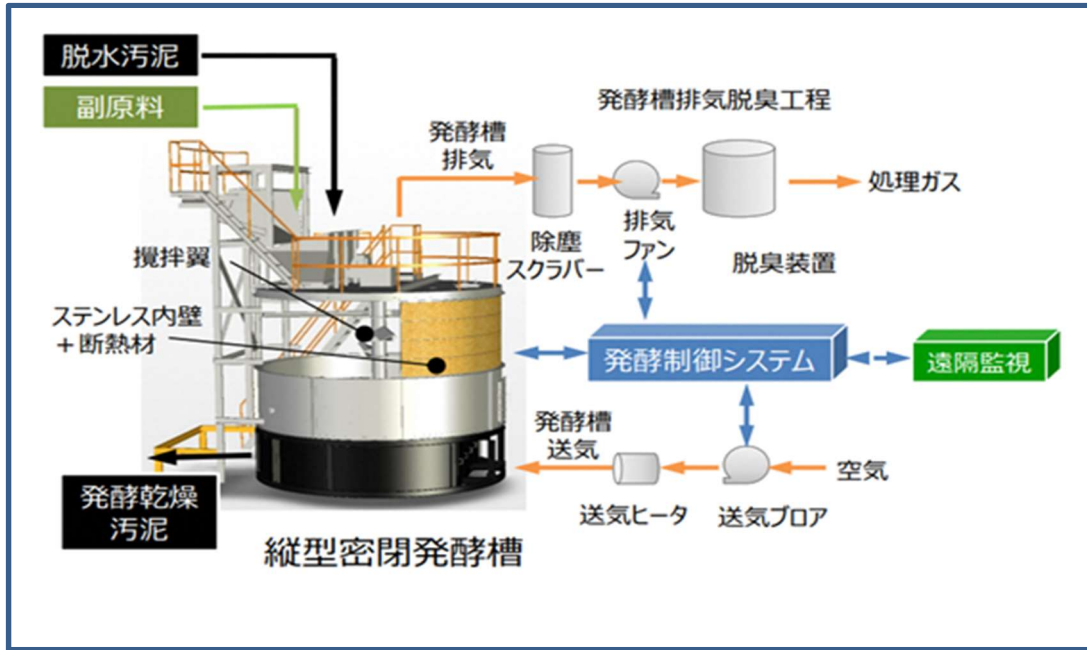
### ■提案技術の概要等

- (1) 概要：これまでの下水汚泥の堆肥化は、外部に搬出し堆肥舎で発酵・乾燥させる等の方式でしたが、実証事業では処理場内に畜産分野で用いられる縦型密閉発酵槽を設置し、副原料を配合することで外部熱源が不要で高速・低コストの発酵乾燥技術を下水分野に応用する効果を検証する。
- (2) 県の主な役割：実証フィールド及び発生汚泥の提供（西部浄化センター）
- (3) 実施期間（予定）：R5～R7
- (4) スケジュール（予定）：R5：実証設備設計・製作・据付・運転  
R6～R7:実証設備運転・各種検証

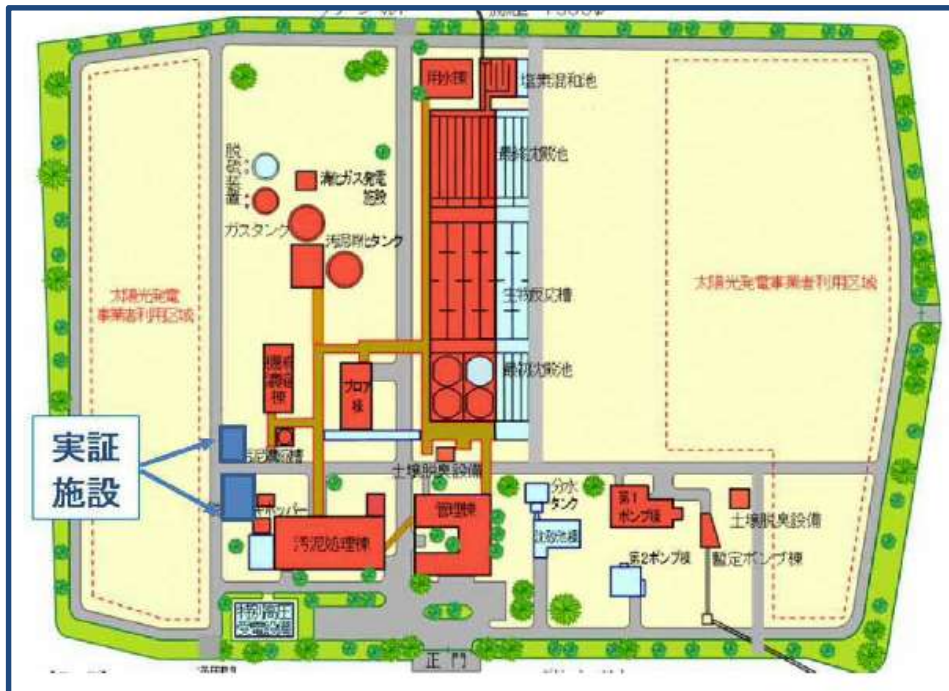
※1 共同研究体（5者）として公募：代表会社：(株)クボタ

※2 国土交通省において、新技術の研究開発および実用化を加速することにより、下水道事業における低炭素・循環型社会の構築やライフサイクルコスト縮減、浸水対策、老朽化対策等を実現し、併せて、本邦企業による水ビジネスの海外展開を支援するため、平成23年度より下水道革新的技術実証事業（B-DASH プロジェクト：Breakthrough by Dynamic Approach in Sewage High Technology Project）が実施されています。

【技術概要図】



【実施予定箇所（西部浄化センター）】



【県 HP】

(島根創生を進めるための新規・拡充施策(令和5年版))

<https://www.pref.shimane.lg.jp/admin/seisaku/keikaku/shimanesousei/index.data/shinkikakujuR5.pdf>

(島根創生計画)

[https://www.pref.shimane.lg.jp/admin/seisaku/keikaku/shimanesousei/index.data/souseikeikaku\\_illustrated.pdf](https://www.pref.shimane.lg.jp/admin/seisaku/keikaku/shimanesousei/index.data/souseikeikaku_illustrated.pdf)

島根創生計画	VII 暮らしの基盤を支える I 生活基盤の確保 (3)上下水道の整備(P85)
--------	--

